

2025年度 教育課程

医療総合学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	1年		2年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎と社会人基礎力	心理学概論 Introduction to Psychology	必修	講義	2	30	30				心の援助の様々なアプローチ方法について心理療法の観点から学び、具体的な精神病理も理解する。また、心理検査の体験を通じて、自身がどのような人間かを深く洞察し理解した上で、他者と意思疎通を図るために有効な技法などを演習を交えて学んでいく。
		倫理学 Ethics	必修	講義	2	30	30				現代医療における臓器移植、尊厳死など生と死の問題から生命倫理、人の尊厳を幅広く学ぶ。
		英会話 English Conversation	必修	講義	2	30	30				「医療の英語」に引き続き、基礎に立ち返り、初歩から英文法を学び直す。リーディング、リスニング等の練習を繰り返し学び基礎英語力を定着させ、簡単な英語表現が身に付き、ペアワークやグループワークにより、さらにコミュニケーション力向上が目標となる。
		医療の英語 Medical English	必修	講義	2	30	30				英語学習では、基礎が最も重要となる。この授業では英語の基礎に立ち返り、初歩から英文法の学び直しをします。リーディング、リスニング等の問題練習を交えて繰り返し学ぶことで基礎英語力を定着させ、簡単な英語表現(書くこと・話すこと)が身に付く。
		国際研修 International Training	必修	演習	1	30			30		異文化にふれるとともに、諸外国の医療の現状、技術について学ぶ。
		情報科学 Information science	必修	講義 演習	1	30	30				情報科学社会にある現代の個人情報の意味や課題などを学び、情報収集する際の取り扱い意味や注意事項を理解する。具体的内容には、Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、インターネット利用及び簡単なデータベースについて学び、実習する。
		健康づくり概論 Overview of health promotion	必修	講義	2	30	30				わが国における疾病構造の変化に伴う健康づくりの概念と歴史、高齢化社会における保健医療・介護制度の理解と高齢者に必要となる運動の理解を学ぶ。
		統計学入門 Introduction to statistics	必修	講義 演習	1	30	30				統計処理の基本的な知識と方法を学び、文献等で用いられる統計を理解する。 また、自身の研究に必要なデータを適切な方法によって収集・分析する素地を身につける。
		医療学概論 Introduction to medicine	必修	講義 演習	1	30	30				医療の歴史を知り、現代医療の課題を学ぶ。 さらに臨床の場で実施される蘇生法と救急措置(一時救命、吸引、呼吸リハビリテーション)を学び、普通救命講習を終了する。
専門基礎分野	基礎医学領域	身体のしくみとはたらきⅠ How the Body Works and How it WorksⅠ	必修	講義	2	30	30				人体の構造と機能の知識は、医療に携わる者にとって基本になる重要な学問である。各器官の果たしている機能・役割を系統的に学び、根拠に基づいた理学療法の評価・治療を行うための基本的知識となる。
		身体のしくみとはたらきⅡ How the Body Works and How it WorksⅡ	必修	講義	2	30	30				人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を系統的に学ぶ。
		病気の理解Ⅰ Understanding of IllnessⅠ	必修	講義	2	30	30				内科疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。
		病気の理解Ⅱ Understanding of IllnessⅡ	必修	講義	2	30		30			外科疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。
		病気と薬 Illness and Medicine	必修	講義	2	30		30			生体に対する薬物の作用メカニズムを学び、疾病の治療への応用や有害事象・副作用について理解する。
		公衆衛生学 Public Health	必修	講義	2	30	30				健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、一般衛生・労働衛生および疾病予防など公衆衛生の分野について学ぶ。
		社会保障制度と福祉論 Social Security System and social welfare	必修	講義	2	30	30				社会保障制度を理解し、対象者への援助の形態および方法、サービス体系の概要、専門職としての専門性と理論を学ぶ。また、社会福祉の理念と意義について理解し、関連する制度や援助方法・形態などを概観する。

医療総合学科

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	健康医科学領域（健康リハビリコース）	スポーツ医学Ⅰ（外科） Sports MedicineⅠ	必修	講義	2	30		30			スポーツにおける、外傷・傷害、予防とコンディショニングなどスポーツ医学の基礎知識を学ぶ。 特に、上下肢の疾患を学ぶ。
		スポーツ医学Ⅱ（外科） Sports MedicineⅡ	必修	講義	2	30		30			スポーツにおける、外傷・傷害、予防とコンディショニングなどスポーツ医学の基礎知識を学ぶ。 特に、発達発育期、中高年期、女性、障害者など対象別の疾患を学ぶ。
		スポーツ医学Ⅲ（内科） Sports MedicineⅢ	必修	講義	2	30			30		スポーツ選手に関連する内科疾患を中心に学習すると共に、その予防や早期発見にかかわるメディカルチェックドレーピングコントロールについても学んでいく。
		健康栄養学 Nutrition for health promotion	必修	講義	2	30			30		身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝、生活習慣病発症の重症化を防ぐための望ましい食事を理解する。
		運動心理学 Exercise and psychology	必修	講義	2	30		30			運動による心理的作用の変化や効果・弊害を通して、ストレスマネジメントの基礎を学ぶ。
		スポーツと社会 Sports Culture and Society	必修	講義	2	30				30	スポーツは社会現象として我々の日常生活にかなりの影響を与えている。スポーツを単に身体活動とそれに付随する身体的・精神的効果をもたらすものとして捉えるのではなく、社会的・文化的意義を考えることができる。
		運動生理学 Exercise Physiology	必修	講義	2	30		30			身体活動・運動・スポーツ実施時の一過性の生体反応や、継続的なトレーニングによって身体機能がどの様に適応するか、また体力と発育と廊下の関係について理解する。
		運動学 Kinematics	必修	講義	2	30			30		目標①：運動器の障害を理解するために必要な、人体の関節運動を理解できる。 目標②：各関節の正常運動について、骨・関節・靱帯・筋・神経の働きを含めたメカニズムを説明できる。
		測定と評価 Measurement and Evaluation	必修	講義 演習	2	60		30	30		必要とされる評価についてその意義と考え方を学び、具体的な評価による問題点の抽出までのプロセスを理解し、実践出来るようになる。
		病気と検査 Illness and Testing	必修	講義	2	30		30			病態総論では、用語の理解、そして構造の異常、機能の異常を学ぶ。症候論と各疾患の症状・診断・治療を学ぶために、まず臓器や細胞の変化を理解する。細胞の変化の基本用語、循環障害・炎症・腫瘍など、演習を取り入れての学習になる。
		検査の理解 Understanding of Inspection	必修	講義	2	30			30		医学の発展に伴い医療分野では多くの検査が実施され、診断の重要な役割を果たしている。検査は何のために行われ、またどのような方法で実施されているか等、検査内容と疾患との繋がりを臓器別に理解すること、臨床検査の基礎知識を習得することを目的とする。
		リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	必修	講義	2	30				30	「リハビリテーションの概念や障害の階層性」「各疾患に対するリハビリテーション」などについての基礎を学び、リハビリテーションの全体像と展開を構造的に学習する。
		高齢者の医学 Geriatric medicine	必修	講義	2	30				30	高齢者特有の疾患や身体の特徴にはどのようなものがあり、またその対処方法を学ぶ。
		子どもの医学 Pediatric medicine	必修	講義	2	30				30	子どもの発達から、時期ごとの子どもの成長を理解する。また、障がいも学び、健常な子どもと障がいを持つ子どもとの違いを学ぶ。
		手話演習 Sign language Exercises	必修	講義 演習	1	30				30	医療現場や福祉現場で聴覚障がい者の対応ができるように、必要な手話語彙及び手話表現技術を学ぶ。 聴覚障がい、聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度等についての理解と認識を深める。

医療総合学科

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	運 動 療 法 と 指 導 領 域 (健康リハビリコース)	健康づくり運動指導論 Exercising coaching for health promotion	必修	講義	2	30		30			生活習慣病における身体活動・運動の必要性とその期待できる効果について学び、対象者別に安全且つ効果的な運動プログラムの立案と指導に必要なスキルを身に付ける。
		健康づくり運動Ⅰ(WP・CD・ストレッチ) Exercise for health	必修	講義 演習	1	30		30			本講義では、健康の維持・増進を目的とした運動の実践と集団への指導を、安全で効果的に指導を行うことを学ぶ。ここでは「ウォーミングアップ・クールダウン・ストレッチング」について理解を深める。
		健康づくり運動Ⅱ(ウォーキング・ジョギング) Exercise for health	必修	講義 演習	1	30			30		本講義では、健康の維持・増進を目的とした運動の実践と集団への指導を、安全で効果的に指導を行うことを学ぶ。ここでは「ウォーキング・ジョギング」について理解を深める。
		健康づくり運動Ⅲ(レジスタンスエクササイズ) Exercise for health	必修	講義 演習	2	60		30	30		本講義では、健康の維持・増進を目的とした運動の実践と集団への指導を、安全で効果的に指導を行うことを学ぶ。ここでは「レジスタンスエクササイズ」について理解を深める。
		健康づくり運動Ⅳ(エアロビックエクササイズ) Exercise for health	必修	講義 演習	1	30			30		本講義では、健康の維持・増進を目的とした運動の実践と集団への指導を、安全で効果的に指導を行うことを学ぶ。ここでは「エアロビックエクササイズ」について理解を深める。
		健康づくり運動Ⅴ(水泳・水中運動) Exercise for health promotion	必修	講義 演習	1	30			30		本講義では、健康の維持・増進を目的とした運動の実践と集団への指導を、安全で効果的に指導を行うことを学ぶ。ここでは「水泳・水中運動」について理解を深める。
		テーピング理論・演習 Taping theory and practice	必修	講義 演習	1	30		30			スポーツ・運動指導に関わる者として基本的なテーピング技術を身に付け、発生する障害のメカニズムや症状を知り、障害の予防への理解を深める。また、この授業の延長上には資格試験に繋がる。
		子どもの運動指導 Exercising coaching for child	必修	演習	1	30				30	地元企業と連携し、子どもの運動指導について実践的に学ぶことを行う。特に年齢に応じた指導方法を学ぶ。
		コアコンディショニング Core conditioning	必修	講義 演習	1	30				30	身体の機能を理解しながら、心身のメンテナンス方法を学び、健康づくりの一環として身に付けることとする。
		シニアリハビリ Geriatric rehabilitation	必修	講義 演習	1	30				30	介護予防運動の一環として、集団運動を実践的に学び、企画及び実行ができることを目標とする。 また、高齢者を対象とした運動方法の為、高齢者の医学(身体・疾患等)も合わせて復習を行う。
		介助技術演習 Assisting skill (practice)	必修	演習	1	15				15	高齢化が進む中で、医療・福祉業界では介助(車椅子操作・歩行介助 等)が必要とする高齢者が多く存在する。適切な介助方法を身に付けることで、安全な対応が可能となる。
	総 合 領 域 (健康リハビリ専攻)	卒業研究Ⅰ Graduation ResearchⅠ	必修	講義 演習	1	30		30			統計学の応用を学び、実践で活用できるようにする。また、興味のある分野について、文献研究を行い、研究テーマを決定し研究計画を立案する。
		卒業研究Ⅱ Graduation ResearchⅡ	必修	講義 演習	2	60			30	30	立案した研究計画に沿って、測定・実験・アンケートを行い、結果集計・分析を行う。 その後、発表に向けパワーポイント・抄録作成を行う。ショートゴールは校内選考会、最終ゴールは卒業・課題研究発表会とする。
		現場実習 Field Training	必修	実習	4	180				180	これまで学んだ知識・技術を実際の現場で実践的に実習することで、専門職としての資質・技術の向上を目指す。また、実際に不足している知識・技術を残りの学校生活の中で振り返りさらに学びを深めていく。
		キャリア対策講座 Workshop for job placement	必修	講義	1	30		30			見学実習を通じて各業界での働き方から将来像決定へのきっかけ作りを行う。その延長上に就職活動と連動し、早期より就職活動への取り組みを行う。
		実習事前指導 Preparatory course for clinical training	必修	講義	1	15			15		現場実習に臨むために必要となる準備を学ぶ。また、実習を通じてより将来の働き方を明確にすると共に、現時点で自身に不足している知識・技術に気付く場となる。

医療総合学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専門分野	検定対策領域 (健康リハビリ専攻)	ビジネス能力検定 対策講座 Preparatory course for Business skill	必修	講義 演習	1	30	30				社会人になる者として、社会のルール・他人や社会の為になることを考えて行動できることを身に付ける。 この授業の延長上に、ビジネス能力検定を受験し習熟度を図る。
		ビジネス文書検定 対策講座 Preparatory course for business writing certificate test	必修	講義 演習	2	60		30	30		筆記試験に合格に向け、試験範囲内を復習する。その中で自己の苦手分野を認識し、克服することを目的とする。
		健康運動実践指導者 対策講座Ⅰ Preparatory course for Health exercise practice coach certificate testⅠ	必修	講義	4	60			30	30	筆記試験合格に向け、試験範囲内の復習及び試験対策を年間通して実施する。試験対策には個々の苦手分野を認識し、克服することを目的とする。
		健康運動実践指導者 対策講座Ⅱ Preparatory course for Health exercise practice coach certificate testⅡ	必修	講義 演習	1	30				30	実技試験合格に向け、これまで履修した実技科目を復習と試験に向けた実践的内容。
		介護予防運動トレーナー 対策講座 Preparatory workshop for Frailty prevention certificate test	必修	講義	2	30				30	介護予防運動トレーナー資格取得に向けて、その対策講座を実施する。
その他	選択科目 (健康リハビリ専攻)	ITパスポート対策講座 Preparatory workshop for IT passport certificate test	選択 必修	講義	2	30		30			ITを活用するすべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識が証明できる国家資格取得を目指す。
		情報セキュリティマネジ メント対策講座 Preparatory workshop for Information security management certificate	選択 必修	講義	4	60			60		情報セキュリティリーダーとして、部門の業務遂行に必要な情報セキュリティ対策や組織が定めた情報セキュリティ諸規程を適切に理解し、安全に活用するために情報セキュリティが確保された状況を実現し、維持・改善する国家試験を目指す。
		ビジネスメイク Professional makeup skill	選択 必修	演習	1	15			15		学生が現場実習・就職活動に求められるメイクの基礎やその職種に合うメイク方法を知り、身だしなみの一つとして学ぶ。
専門分野	医療事務領域 (医療事務・情報専攻)	関係法規 Related Regulations	必修	講義	2	30		30			医療に関する法令やその他保険に関する法令について学ぶ。
		ドクタークラーク論 Introduction to Doctor Clark	必修	講義	2	30			30		外来、病棟、医師事務などで活躍できるようになるため、様々な部所に対応できるクラーク業務を学び、クラーク業務の必要性を知る。
		診療報酬学(総合) Medical Fee Schedule (General)	必修	講義	2	30		30			診療保険点数を中心に病院の収入、出来高算出、DPC算出などの種類について等、診療における報酬の基礎を身に付ける。
		診療報酬学(DPC) Medical Fee Schedule (DPC)	必修	講義	2	30		30			DPCの目的や診療報酬点数算出方法、導入病院とその利点、欠点について学び、病院毎に異なる請求方法の仕組みやその違いを理解する。
		保険制度学 医科(レセプト) Insurance System Science Medical department (receipt)	必修	講義 演習	2	60		60			病院における保険の種類に合わせた診療保険点数を学び、計算ができる。
		保険制度学 歯科(レセプト) Insurance Institutional Dentistry (Receipt)	必修	講義 演習	1	30				30	歯科領域における保険の種類に合わせた診療保険点数を学び、計算ができる。
		医療事務管理学	必修	講義 演習	3	90			90		医療事務の仕事について述べることで、点数表を読みこみ、医科レセプトのポイントを述べるができる。さらにこの講義の延長上に資格取得を目指す。
		医療マネジメント Medical Management	必修	講義	2	30				30	病院の組織を理解し、各部門の役割を知る。医療秘書として、病院組織管理の質向上に貢献できる知識を身に付ける。

医療総合学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専門分野	(医療事務・情報専攻)	医療安全管理学 Medical Safety Management	必修	講義	2	30			30		医療・看護行為、医薬品、医療器具、患者に存在する危険を認識する能力をもつ重要性を理解し、「してはならないこと」と「すべきこと」、またその根拠・理由も含め医療安全の観点を学ぶ。また、安全対策の基礎的知識を理解する。
		システム情報処理 System Information Processing	必修	講義	2	30			30		医療事務職として必要となる病院情報システムの歴史と基礎知識から、実際に現場で使用されているシステムの利便性・問題点・リスクなどを学ぶ。
		電子カルテ演習 Electronic Medical Record Exercise	必修	講義 演習	2	60				60	急速に進む医療のIT化に対応できるよう、病院情報システムの基礎理解及び電子カルテ操作の習得。その延長上に、医師事務作業補助者の資格取得を目指す。
	専門医学領域（医療事務・情報専攻）	栄養と食事 Nutrition and Diet	必修	講義	2	30				30	主要食品の栄養学的意義を学び、各栄養素の消化・吸収について学習する。健康の維持・増進及び回復を図るための栄養学の基礎を学び、病院での栄養科の業務の理解にも繋げていく。
		病気と検査 Illness and Testing	必修	講義	2	30		30			病態総論では、用語の理解、そして構造の異常、機能の異常を学ぶ。症候論と各疾患の症状・診断・治療を学ぶために、まず臓器や細胞の変化を理解する。細胞の変化の基本用語、循環障害・炎症・腫瘍など、演習を取り入れての学習になる。
		検査の理解 Understanding of Inspection	必修	講義	2	30			30		医学の発展に伴い医療分野では多くの検査が実施され、診断の重要な役割を果たしている。検査は何のために行われ、またどのような方法で実施されているか等、検査内容と疾患との繋がりを臓器別に理解すること、臨床検査の基礎知識を習得することを目的とする。
		臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	2	30				30	心理学の基礎知識を学ぶとともに、患者や家族の世界観を知り、人間関係を構築するための手法を学ぶ。
		高齢者の医学 Geriatric medicine	必修	講義	2	30				30	高齢者特有の疾患や身体の特徴にはどのようなものがあり、またその対処方法を学ぶ。
		子どもの医学 Pediatric medicine	必修	講義	2	30				30	子どもの発達から、時期ごとの子どもの成長を理解する。また、障がいも学び、健常な子どもと障がいを持つ子どもとの違いを学ぶ。
		介助技術演習 Assisting skill (practice)	必修	演習	1	15				15	高齢化が進む中で、医療・福祉業界では介助(車椅子操作・歩行介助 等)が必要とする高齢者が多く存在する。適切な介助方法を身に付けることで、安全な対応が可能となる。
	対人マナー領域（医療事務・情報専攻）	医療文書演習 Medical Writing Exercises	必修	講義 演習	1	30				30	医療用語の習得や紹介状の書き方など医療に関する文章について学び、作成する。
		手話演習 Sign language Exercises	必修	講義 演習	1	30				30	高齢化が進む中で、医療・福祉業界では介助(車椅子操作・歩行介助等)が必要とする高齢者が多く存在する。適切な介助方法を身に付けることで、安全な対応が可能となる。
		医療マナー Medical Manners	必修	講義 演習	1	30			30		医療現場における、患者・家族に対する適切な対応方法、さらに同じ医療職者間での対応方法を実践的に身に付ける。この講義の延長上に、ホスピタルコンシェルジュ資格取得を目指す。
		接遇マナー Hospitality Manners	必修	講義 演習	2	60		60			対人援助職を目指す者として必要となる接遇の基本として、電話対応・来客対応 等社会人としての求められるスキルを学び身に付ける。この講義の延長上には接遇マナー検定の合格を目指す。

医療総合学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専門分野	総合領域（医療事務・情報専攻）	卒業研究Ⅰ Graduation ResearchⅠ	必修	講義 演習	1	30		30			統計学の応用を学び、実践で活用できるようにする。また、興味のある分野について、文献研究を行い、研究テーマを決定し研究計画を立案する。
		卒業研究Ⅱ Graduation ResearchⅡ	必修	講義 演習	2	60			30	30	立案した研究計画に沿って、測定・実験・アンケートを行い、結果集計・分析を行う。その後、発表に向けパワーポイント・抄録作成を行う。ショートゴールは校内選考会、最終ゴールは卒業・課題研究発表会とする。
		現場実習 Field Training	必修	実習	4	180				180	これまで学んだ知識・技術を実際の現場で実践的に実習することで、専門職としての資質・技術の向上を目指す。また、実際に不足している知識・技術を残りの学校生活の中で振り返りさらに学びを深めていく。
		キャリア対策講座 Workshop for job placement	必修	講義	1	30		30			見学実習を通じて各業界での働き方から将来像決定へのきっかけ作りを行う。その延長上に就職活動と運動し、早期より就職活動への取り組みを行う。
		実習事前指導 Preparatory course for clinical training	必修	講義	1	15			15		現場実習に臨むために必要となる準備を学ぶ。また、実習を通じてより将来の働き方を明確にすると共に、現時点で自身に不足している知識・技術に気付く場となる。
その他	検定対策領域（医療事務・情報専攻）	ビジネス能力検定対策講座 Preparatory course for Business skill certificate test	必修	講義 演習	1	30	30				社会人になる者として、社会のルール・他人や社会の為になることを考えて行動できることを身に付ける。この授業の延長上に、ビジネス能力検定を受験し習熟度を図る。
		ビジネス文書検定対策講座 Preparatory course for business writing certificate test	必修	講義 演習	2	60		30	30		ビジネスの分野において、事務的作業能力としてビジネス文書作成能力が求められる。この授業を通して様々な場面で役に立つ文書を正確に・迅速に作成できる能力を身に付ける。この授業の延長上にはビジネス文書検定2級を目標としている。
		医療秘書技能検定対策 Preparatory course for medical secretary certificate test	必修	講義	4	60		30	30		医療秘書に必要な実務と医療関連知識を問われ、様々な科目の学びが複合的に試される検定である。この検定合格を目指す集中講座となる。
その他	選択科目（医療事務・情報専攻）	ITパスポート対策講座 Preparatory workshop for IT passport certificate test	選択必修	講義	2	30		30			ITを活用するすべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識が証明できる国家資格取得を目指す。
		情報セキュリティマネジメント対策講座 Preparatory workshop for Information security management certificate	選択必修	講義	4	60			60		情報セキュリティリーダーとして、部門の業務遂行に必要な情報セキュリティ対策や組織が定めた情報セキュリティ諸規程を適切に理解し、安全に活用するために情報セキュリティが確保された状況を実現し、維持・改善する国家試験を目指す。
		コアコンディショニング Core conditioning	選択必修	演習	1	30				30	身体の機能を理解しながら、心身のメンテナンス方法を学び、健康づくりの一環として身に付けること目的とする。
		ビジネスメイク Professional makeup skill	選択必修	演習	1	15			15		学生が現場実習・就職活動に求められるメイクの基礎やその職種に合うメイク方法を知り、身だしなみの一つとして学ぶ。
総 時 間 数 (健康リハビリ専攻)					96	1935	420	480	480	555	
総 時 間 数 (医療事務・情報専攻)					92	1875	420	450	450	555	